

〈熊本支部例会事前抄録〉

日時：2022年6月28日（火）19：30～

会場：添島歯科クリニック研修室 & ハイブリッド配信

— 一般講演抄録2 —

マグネット義歯の臨床 ～保険導入の考察～

こつば歯科医院 小坪義博 〒830-1125 久留米市北野町乙丸 77-1

■ 抄録

多数歯欠損や無歯顎の患者で顎堤の吸収が進行したケースにおけるインプラント治療では、固定性の上部構造よりもIODによる修復治療の選択が、患者にとって適切な場合がある。高齢者社会が進む中において、今後は介護施設へ入所される方も増加すると予想される。そこでメンテナンスが比較的容易にできるIODの設計は有効であり、家族や介助者がメンテナンスをすることになっても難しい清掃が不要なことは、両者にとってメリットである。

また、IODは取り外して清掃することができるため、高齢者に対する口腔清掃指導が容易になると考えられる。

IODのアタッチメントには数種類あるが、マグネットアタッチメントは有害な側方力を発生させないのでIODのアタッチメントとしての有用性が高いと考えられる。マグネットの維持力は減衰することがなく、さらに摩耗や破損する部品も少なく着脱方向の自由度が高いため、手指の不自由な患者や介護を受けている高齢者への使用には適していると考えられる。

2021年の10月より、天然歯にマグネットを用いた義歯が、保険の適応になったことはマグネット義歯の優位性が認められたと確信する。

今回の発表であらためてマグネット義歯について、臨床応用の留意点を解説する。